連盟加盟団体の皆さまへ　「吹奏楽の魅力は“人と人の絆”新しい出会いと共に！」

新しい年度が始まりましたが、いかがお過ごしでしょうか。日頃より広島県吹奏楽連盟の活動に際し、ご理解とご協力をいただきまして、本当にありがとうございます。
“コロナ禍”という厚い氷が少しずつ解け始め、私たちを取りまく状況も大きく動き出そうとしています。しかしながら新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が終息したわけではありません。これからも油断することなく、最大限の配慮をしながら、吹奏楽を愛好する皆さまの「安全・安心」を第一に考えた運営をして参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

この３年間で吹奏楽を取り巻く状況はずい分と変わってしまいました。「当り前のことが当たり前にできない」と言う、もどかしさを痛感された方も多かったのではないでしょうか。その反面、吹奏楽の持つエネルギーの大きさや素晴らしさを再確認され、「吹奏楽はやっぱりいいね！」と思ってくださった方も少なくないと思います。奏者は音を創り届けることに喜びややりがいを感じる訳ですが、その想いを何倍にもしてくれるのは、聴衆の皆さんの拍手や笑顔です。ぜひ演奏会や発表の場に足を運んでいただけるよう周りに働きかけていただき、大きな広がりを作っていきましょう。
人と人をつなげていくことができる吹奏楽の活動を、今年もみんなで盛り上げ、一人でも多くの人に吹奏楽の魅力を伝え、サポーターや仲間を増やして参りましょう。

児童・生徒・学生のみなさま

吹奏楽の活動も少しずつですが、演奏する場も増えてきています。これまではがまんをすることが多かったのですが、仲間といっしょに楽しんで演奏してください。みなさんが楽しんで演奏している姿を見て、やってみようかなぁと思ってくれる新しい仲間と出会えるかもしれません。**新しい出会いを大切に、吹奏楽でいっしょにつながっていきましょう！**

学校団体代表者・吹奏楽担当の顧問・指導者の皆さま

小学校、中学校では吹奏楽の活動環境が大きく変わろうとしています。これから数年の間に、今まで想像もしていなかった状況が訪れるかもしれません。クリアしなければならない課題も数多く言われていますが、子ども達のことを一番に考え、より良い対応ができればと考えています。

吹奏楽を愛好する職場・一般の会員の皆さま

昨年もお伝えしましたが、若者の吹奏楽離れは深刻です。大人のバンドも情勢に合わせ、多様化を迫られている部分もありますが、ぜひ色々な場面で吹奏楽の魅力をアピールしていただければと思います。“大丈夫！”を伝えるのは、私たち大人の命題かもしれません。よろしくお願いします。

広島県吹奏楽連盟
理事長　古土井正巳